

教科	理科	科目（単位数）	科学と人間生活（2）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	人間生活を科学の観点から捉え、身近な事物・現象に関する観察や実験を通して、科学に対する興味や関心を高めるとともに、21世紀の科学技術社会において必要とされる科学リテラシーの内容やその考え方を養う。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	【地学分野】 第4編 地球や宇宙の科学 第1章 自然景観と自然災害 第2章 太陽系における地球	【地学分野】 ・地球の内部構造について理解する。 ・火山噴火と地震について理解する。 ・日周運動と自転の関係、年周運動と公転の関係について理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間 ～期末考査	【物理分野】第3編 熱や光の科学 第2章 光の性質とその利用 1 波の性質 2 光の種類と性質 5 電磁波の性質と利用 【生物分野】視覚器と聴覚器	【物理分野】・波の基本的な性質を理解する。 ・光のスペクトルや光の性質、光速の測定方法についての理解する。 ・電磁波の性質と身の回りにおける利用法について理解する。 【生物分野】・視覚器と聴覚器の各部の名称とそのはたらきを理解できる。 ・瞳孔の大きさの調節や色の識別方法について理解できる。 ・音の聞こえるしくみを理解できる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末 ～2学期 中間考査	【物理分野】第3編 熱や光の科学 第2章 光の性質とその利用 3 光の進み方 4 光の回折と干渉 【生物分野】 マイクロメーターを用いた顕微鏡観察	【物理分野】・波動性をもつ光の伝わり方や回折、干渉の現象について、具体的な事象を確認しながら理解する。 【生物分野】・顕微鏡の使用方法を理解できる。 ・マイクロメーターを用いて対象物の大きさを測定することができる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間 ～期末考査	【物理分野】第3編 熱や光の科学 第1章 熱の性質とその利用 1 熱と温度 2 熱と仕事 【生物分野】遺伝のしくみ	【物理分野】・仕事の定義について理解する。 ・熱現象の基本的な性質について理解する。 【生物分野】・メンデルの法則を理解できる。 ・遺伝子・DNA・染色体などの関係やはたらきを理解できる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末 ～3学期 学年末考査	【物理分野】第3編 熱や光の科学 第1章 熱の性質とその利用 3 エネルギーとその移り変わり 【生物分野】植物の光合成と植生遷移	【物理分野】・エネルギーの定義、仕事とエネルギーの関係、エネルギー保存について理解する。 ・熱と仕事の関係について理解する。 【生物分野】・陽生植物と陰生植物の違いについて、光合成曲線の違いを含めて理解できる。 ・植生遷移の方向性について理解できる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
3学期 学年末考査 ～年度末	【物理分野】課題研究 【生物分野】生物の共通性	【物理分野】・長期休暇中に取り組んだ課題研究を振り返り、適切なテーマ設定や研究の取り組み方について理解する。 【生物分野】・細胞の構造とはたらきを理解できる。 ・DNAの役割を理解できる。 ・代謝におけるATPの役割を理解できる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	「新科学と人間生活」数研、プリント（教科書内容を超えた発展的内容に関しては、プリント等で補充を行う。）						
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み						